

言語聴覚士



医療技術部
リハビリテーション部門
言語聴覚士
令和3年4月採用

ある1日の
スケジュール



顔面神経外来を行います。



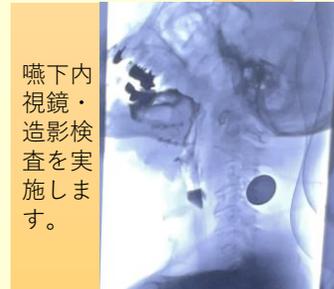
言語聴覚療法及び摂食機能療法を行います。



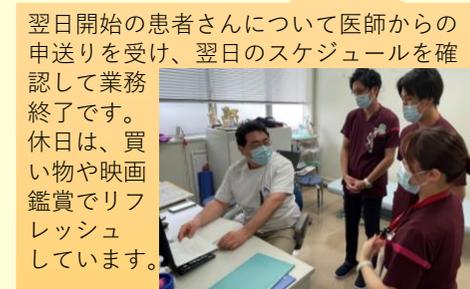
嚥下カンファレンスに参加後、電子カルテを作成します。



1日のスケジュール確認と担当患者さんの割振りを行い、ST症例検討会や全体カンファレンスに参加。



嚥下内視鏡・造影検査を実施します。



翌日開始の患者さんについて医師からの申送りを受け、翌日のスケジュールを確認して業務終了です。休日は、買い物や映画鑑賞でリフレッシュしています。

現在担当している業務について教えてください

入院中の患者さんの構音障害や嚥下障害、高次脳機能障害に対してリハビリテーションを行なっています。対象の診療科は、脳神経外科、脳神経内科、耳鼻咽喉科が多いです。また、私は顔面神経麻痺に対するリハビリテーションを専門としているため、外来で顔面神経麻痺を呈した患者さんも担当しています。**仕事をするうえで心がけていることを教えてください**
リハビリテーションを提供するうえで、現状を適切に評価することは大切ですが、患者さんやご家族のニーズを傾聴して寄り添うことを忘れないよう心がけています。

高知大学医学部附属病院の言語聴覚士として働く魅力を教えてください

大学病院ということもあり、脳血管疾患やがん、神経・筋疾患など幅広い疾患の患者さんのリハビリテーションを経験することで、日々成長を実感できます。入職後2年間は新人教育プログラムが設けられており、プログラム終了後もリハビリテーション医師や先輩にいつでも相談できる体制が整っています。また、学術大会や研修会へ積極的に参加できる環境であり、自身が興味を持った分野をとことん追求できます。部署内の雰囲気も良く、職種を超えて色々と相談にのってくれることも魅力の一つです。

目標とする将来像を教えてください

言語聴覚士は、病態や性格が異なる患者さんと言葉を通して関わる職業です。その中で、一人ひとりの患者さんに寄り添い信頼関係を構築しつつ、より効果的なリハビリテーションが提供できる言語聴覚士を目指しています。また、私が専門とする顔面神経麻痺に対するリハビリテーションのエキスパートを目指して、日々頑張っています。

部署からのメッセージ

当院で勤務する言語聴覚士は、一般的な言語聴覚療法の臨床教育を、他職種を含むリハビリテーション専門職として学べる職場です。また、県下唯一、耳鼻咽喉科に配置されている言語聴覚士とも連携して、聴覚や音声に関する特殊検査を学べる貴重な環境でもあります。言語聴覚士としての成長を目指して、ぜひ一緒に働きましょう!!